

Do-Re

北海道立図書館レファレンス通信

No.36 (通巻40号)

平成21年 9月30日発行

【目次】

- こんなのきました —参考調査課によせられたレファレンス— 【39】…………… 1
漱石の三部作はどの作品？
- 市町村のみなさんからの発信 【25】…………… 2
館内レファレンス研修 日高町立門別図書館郷土資料館 只石 美由紀 さん
- こんなのあります —いちおしレファレンス・ブッカー— 【26】…………… 3
「日本文化のかたち百科」小町谷朝生ほか編 丸善 2008
- Librarian's Box (ししょぼこ) 【23】…………… 4
“期日前”は きじつぜん？きじつまえ？
- 課員のつぶやき —日々の業務からの短信— 【23】…………… 5
レファレンスのデータベース考
- レファレンスサービスに関する雑誌記事紹介 (2009年6月～2009年9月分) …… 6
- News …… 7
 - 1 国立国会図書館法の改正(7/2)
 - 2 日本図書館協会、政府刊行物の提供について文部科学省に要請(7/2)
 - 3 iPodでの貸し出し好調 千葉の図書館、障害者らに(7/31)
 - 4 日本図書館協会、『乳幼児への図書館サービスガイドライン』刊行(7月)
 - 5 日本政策金融公庫と佐賀商工連、(佐賀)県立図書館と連携 中小を支援(8/21)
 - 6 大府市中央図書館に脅迫文 31日まで臨時休館(8/26)
 - 7 就活情報は図書館で、大学生対象に活用セミナー(8/27)
 - 8 根室市図書館で「ニッポン号」展(8月)
 - 9 北海道医療大学・北海道立図書館共催セミナー開催(9/2)
 - 10 第51回北海道図書館大会開催(9/10・11)
- 編集後記 …… 9



北海道立図書館

HOKKAIDO PREFECTURAL LIBRARY

こんなのきました —参考調査課によせられたレファレンス—【39】

漱石の三部作はどの作品？

ドラマや映画などで『〇部作』と銘打っているものがあります。こういった『〇部作』というのはその数に分かれてはいますが、同じ1つの主題を持った作品でそれぞれに関係性があります。例えば、韓流ブームで話題になった「冬のソナタ」は、ユン・ソクホ氏が監督した『四季四部作』とよばれる作品の1つ。また、山崎豊子氏が書いた「不毛地帯」「二つの祖国」「大地の子」は『戦争三部作』とよばれています。今回は、そんな『〇部作』にまつわる話。

先日「夏目漱石の三部作と呼ばれているものを読みたいのだが、どの作品があたるのか」という質問を受けました。

まずはインターネットで「夏目漱石 三部作」で検索。『三四郎』『それから』『門』の三作品がヒット。これであとは資料をと思いつつ読み進めると、他に『彼岸過迄』『行人』『こころ』を三部作とする記述や『吾輩は猫である』『坊ちゃん』『草枕』という記述もある。これは確定に手間取りそうな予感を抱きつつ、まずは漱石の研究本を調査してみることに。

ただ、日本を代表する文豪だけあって漱石の研究本は数多くあり、それらをすべて読んでいくわけにもいきません。ここである程度読む資料を絞るために、目次部分と巻末に掲載されている事項索引で「三部作」の記述があるものを探しました。ここで記述があるということは、何かしらの説明がある可能性が高いからです。また、「はじめに」「序説」といった前書き部分にも目を通します。これは、その本の概略を説明すると共に、その対象となる人物の紹介なども書かれていることがあるからです。この方法で調査を進めていく中で次の資料の記述を見つけました。

まずは目次での記載があったものは、『夏目漱石』（瀬沼茂樹著 東京大学出版会 1970 せ：910.268/Na）です。この資料では第4章に「第一の三部作」として『三四郎』『それから』『門』の三作品、第6章に「第二の三部作」として『彼岸過迄』『行人』『こころ』の三作品を取り上げています。

また、前書き部分で記載があった資料としては『漱石と三人の読者』（石原千秋著 講談社 2004 せ：S910.268/Na）がありました。ここでは前期三部作として『三四郎』『それから』『門』、後期三部作として『彼岸過迄』『行人』『こころ』が掲載されています。

別の方向からの調査として、「文学史」からも調査しました。こちらでは漱石の項目があれば必ず見つ、先の調査と同じよう目次と前書きを調べていきました。その中で「日本文学全史 5 近代」（学燈社 1994 せ：910.2/NI/5）という資料で、「恋愛三部作」と題して『三四郎』『それから』『門』、「後期三部作」として『彼岸過迄』『行人』『こころ』が掲載されています。

作者研究という部分では雑誌記事や論文というのも注目。国立国会図書館の雑誌記事検索で「漱石 三部作」で検索すると10件ヒットします。これらの多くは、『三四郎』『それから』『門』を三部作、前期三部作として書かれているようです。

質問者に対しては、これらの調査結果を報告して回答としました。

最初に書いたユン・ソクホ氏の「四季四部作」など最近の作品ではあらかじめ、これらの作品は「〇部作」といって発表されることが多いです。しかし、今回調査した夏目漱石の三部作というのは、おそらく研究者が作風やテーマなどからそのように称したものと思われます。今回のような一般に知られているような作品ならよいのですが、一部の研究者だけで言われているような「〇部作」だと調査が難しいと思われます。

また、調査した結果「吾輩は猫である」等の三部作の記述は結局見つかりませんでした。これらの作品はもしかしたら、三部作というより教科書にも取り上げられる代表的な「三作品」ということだったかもしれませんね。

市町村のみなさんからの発信 【25】

館内レファレンス研修

日高町立門別図書館郷土資料館 只石 美由紀 さん

門別図書館では、臨時職員のスキルUPのために、今年7月よりレファレンス研修を始めました。テキストは、ポプラ社から出版されている、赤木かん子／著「調べ学習の基礎の基礎」です。この本は、見開きの左側のページが説明、右側が書き込み式ワークで構成されているので、テキストを職員数分コピーし、ワークの部分は書き込みます。（同一の家庭・学校・図書館でレクチャーをするときにかぎりコピーフリーという旨の但し書きがありました。）

研修は各自、勤務時間内に行いますが、進捗と理解度を確認するため毎月チェック日を設けています。その日までに事前に指定した部分を勉強し、私が臨時職員と個別に30分から40分ほど面談します。面談では、実際に百科事典を引いてもらう等、ワークの答え合わせだけで終わらないように気を付けています。

皆さんの図書館でカウンター業務をする職員は司書資格を持っていますか？ 当館の臨時職員は3名おりますが、全員司書資格はありません。正規職員の司書は私を含め2名おりますが、カウンター業務は臨時職員3名がメインで頑張っています。

そこで困ったのがレファレンス。書名がはっきり分かっているものは、コンピューターで検索してHITしたものを取りに行けば良いのですが・・・。

◇よくある例

「イタリアについて書いた本ありますか？」と中学生に尋ねられ、タイトルに「イタリア」とついている資料を検索し、一覧に出た本を棚から探して中学生に渡す。

タイトルにイタリアという言葉がついていれば確かにイタリアについて書いてあるけれど、宿題で人口や面積等の概要だけ知りたいのなら、百科事典で調べることもできます。でも、「調べる方法」について学んだことがないため、百科事典を使うということが思いつかないのです。

「それなら調べ方を教えればいいのだけど、もう、これは本当に基礎からやるしかないなあ。一体何から教えたらいいの？」

そこで、ふと、思い出したのが中学生の職場体験。「調べ物のお手伝いをするのも図書館の仕事ですから、実際に調べ物をしてみましょう。」と、前述の「調べ学習の基礎の基礎」に沿って実習をしました。限られた時間なので、本の仕組みと百科事典の調べ方だけでしたが、それでも百科事典がいかに便利かということを経験してもらうことができました。

「あの時の本を使えば、教えるのが下手な私でもなんとかなるかも！」

私が教えると、知らず知らずのうちに皆がよく分からない用語を使っていたり、基礎から順に説明できなくて混乱させたりで、こちらの意図が正確に伝わらないことがあるのですが、この本を使えば私でも研修を進めることができそうです。自分の中で常識になっていることを人に教えるって難しいですが、7月と8月のチェック日に面談をしてみて、皆がどこでつまずくのか少しずつ分かってきました。

もし、他の図書館で「こんな研修をしていますよ。」というのがありましたら、今後の参考にしたいので何かの折にでも教えてください。どのように研修を進めたら、より効果的なのか、まだまだ試行錯誤中ですのでよろしく願いします。と、これをお願いしたかったのでこの原稿を書きました。

こんなのあります —いちおしレファレンス・ブック— 【26】

「日本文化のかたち百科」 小町谷朝生ほか編 丸善 2008.12

日本人が忘れかけている、日本文化や伝統の底に潜む「かたち」と色に着目した大変ユニークな「百科」です。ただし、事典としての使い勝手を期待すると少々難しく、日常生活上、よく目にするかたちの意味や由来、あるいは隠されたエピソードなどについて随筆的に解説されており、思わぬ発見に導かれるというのが本書の醍醐味と言えるでしょう。

執筆者数は約 100 名。文系理系を問わずさまざまな分野の第一人者（研究者ばかりでなく家元や職人など）が執筆に参加し、個性豊かに蘊蓄を展開します。収録テーマ数は約 200、建物、遊び、宗教、芸道など広範囲にわたり、日本文化に関わるさまざまなかたちを、科学的視点も交えて興味深く解説し、美しいカラー図版も多数収録しています。巻末には重要語句の総索引があり、その項目数約 3,000。

伝統的な日本文化といえば、「わびとさび」「幽玄」というように、形の無い精神性に特徴があると考えられていますが、一方、神社仏閣の奥深くには絢爛豪華な装飾で埋め尽くされ、また、年中行事や歌舞音曲、芸道、工芸、書画などに見られる「型」（かた）、さらには和風料理や和菓子などにも日本独特のかたちがあります。

これらの文化は、日本の地理的条件から、海外から流入した（または導入された）ものが重層的に影響し合い、統一的な法則性を見出しにくいものになっています。

例えば日本の伝統的な家屋は、畳、障子、床の間など直線基調で構成されますが、お城の石垣や屋根には美しい「反り」が施されます。「石垣の反り」の項目によれば、我が国の城は、自然の地形を利用して造られるので、もともと土留めとしての「垣」の工法に由来し、これを石の扱いを職とした「穴太衆」（あのをしゅう）と呼ばれる職人集団が伝えたと説明しています。また、神社の境内にどこにでも見られる狛犬について、朝鮮の「高麗から伝わった犬」という認識が一般的ですが、これは誤解で、平安時代に日本で作り出された動物らしく、現存する石造のものでは、東大寺南大門に置かれているものが一番古い（鎌倉時代）とされています。

この他、数字の吉凶、色の順位・序列の謂われ、伝統的な遊びである凧や手まり、すごろくなどの起原や遊び方など興味深い内容となっています。

このように、日本の伝統的なかたちは、場合、場面ごとに独自の形成過程をたどったものが多く、一見矛盾したところがあるだけに、そのすべてを秩序立てて説明することは困難です。しかし、関連する項目を読み進めると、底に流れている思想が仏教であったり陰陽五行思想であったりと、共通項を見出すことができます。

本書は、日常目にしながら、その個々のものについての成立の歴史や意味が見失われている事象について、さまざまな疑問に答えてくれそうです。

Librarian's Box (ししょぼ) 【23】

“期日前”はきじつぜん?きじつまえ?

第45回衆議院議員選挙は、政権交代という歴史的結果となりました。関心の高さと事前のPRが功を奏してか、期日前投票の数が前回は大きく上回りました。北海道出身のタレントが投票を呼び掛けるCMでは“期日前”を“きじつぜん”と言っていたようですが、多くのニュース番組で“きじつまえ”と言っていたように思います。インターネットのQ&Aサイト、「yahoo!知恵袋」と「教えて!goo」では、どちらのよみが正しいのかを問う質問に、何人もが回答しています。

yahoo!知恵袋でベストアンサーに選ばれた回答の中で張られている総務省のリンクを開くと、すでに掲載期間が終了し見る事ができません。掲載期間終了告知の下には「利用希望ページを探す方法」として、国立国会図書館「WARP-国立国会図書館インターネット情報選択的蓄積事業」へのリンクが用意されています。WARPは、インターネット上に存在するウェブサイトを収集、保存し、提供するサービスです。消えてしまったウェブサイトの中には、WARPなら見ることが可能なものがあるのです。

そのWARPで国の機関のサイトだけを選び、期日前投票をそれぞれのよみで検索をすると“まえ”では検索結果0件に対し、“ぜん”では①2003年6月3日付の片山総務大臣閣議後記者会見の概要と②2006年12月26日発行の総務省発情報メルマガ第487号がヒットします。①では、大臣が読む提案理由説明文中で“きじつぜん”とひらがなを振られていたことが書かれ、②では豆知識として期日前投票制度(きじつぜんとうひょうせいど)とよみを記述した上で制度の説明をしています。

8月31日付毎日小学生新聞「子どものための政治講座7」での語句の説明に振られているかなは“まえ”、広辞苑第6版を引いたところ、こちらのよみは“ぜん”。どうやらこのよみは、正誤を判別できるものではないようです。

どちらとて不都合があるわけでもないのですが、意外とこのよみについて気に留めている人が多いことに驚き、つい、長々と書いてしまいました。

さて、当選結果はもちろん、なにかと注目の選挙でしたが、図書館と関係するサイトを紹介します。

◆法律図書館閲覧日誌 第45回衆議院議員総選挙マニフェスト・公約出揃う

<http://lawlibrarian.cocolog-nifty.com/lawlibrary/2009/07/index.html>

今回大いに注目されたマニフェスト。法律データベース 法律図書館のブログ「法律図書館閲覧日誌」の中で、各政党のマニフェストのリンク集を作っていました。以前にDo-Re 通巻17号の中で、「選挙期間中は図書館での閲覧提供はできない」とする公職選挙法上の『政党マニフェスト』の扱いについて書かれたJLAメルマガNo.181のトピックをお知らせしましたが、資料自体の提供ができないまでも、リンク集という形での所在の提示であれば選挙期間中でもできそうですね。

◆日本図書館協会 図書館に関する政策についての日本図書館協会の質問と政党の回答(2009.8.26掲載)

<http://www.jla.or.jp/kenkai/20090826.html>

各政党に対して行った図書館に関する政策について15の質問と、その回答が掲載されています。

課員のつぶやき — 日々の業務からの短信 — 【23】

レファレンスのデータベース考

現在、多くの公立図書館において図書の管理にデータベースが導入され、図書検索の他、貸出返却、蔵書点検などに活用されています。近年では、ネットワーク技術の進展を背景に、複数の図書館のネットワーク化、ILL システム、総合目録、ネットサービスへと展開を続けており、情報化社会における公立図書館が提供する情報コンテンツといえば、その大半は図書のデータベースであるといっても過言ではないかもしれません。

一方でレファレンスのデータベース化については、中々進んでいないというのが実情ではないでしょうか。当館においてもレファレンスの記録票は手書きかワープロ打ちしたものが主体で、調査の際のメモ書きや資料コピーといった添付資料も含めると、完全なデータベース化はまだまだ先の話といった気がします。

現在、もっとも身近なレファレンスのデータベースはというと、平成 17 年に始まった『レファレンス協同データベース事業』ではないでしょうか。国立国会図書館が主体となって、「公共図書館、大学図書館、専門図書館等におけるレファレンス事例、調べ方マニュアル、特別コレクション及び参加館プロファイルに係るデータを蓄積し、並びにこれらのデータをインターネットを通じて提供することにより、図書館等におけるレファレンスサービス及び一般利用者の調査研究活動を支援すること」を目的とした事業です。8月末の統計では、約 500 の参加図書館と約 3万7千件の登録事例があるとされています。ということは館あたりに換算すると、まだどこの図書館も様子見といったところが現状のようです。（他人事ではありませんが。）

以前、某研修会に参加した折に、レファレンス記録をデータベース化する意義について尋ねられた講師は、発想を根本から転換することが必要であると述べました。珍しいレファレンス事例を集めて冊子体刊行していたそれまでの“事例集”をデータベース化するのではなく、誰からも、どの利用者からも寄せられるかもしれないポピュラーな事例こそデータベース化して、同じレファレンスの質問に同じ資料をたどって回答し続ける全国の司書の労力を減らし新しい図書館サービスに振り向けなければ、司書の存在意義や専門性は認められなくなるだろうというようなことを言っていました。（その講師はビジネス支援を推奨しています。というとな誰のことかわかりますね。）

市販の MARC データと入力作業のアウトソーシングで作ることができる図書のデータベースと違って、レファレンスのデータベース化は、プライバシー回避による内容の一般化が必要な点やアウトソーシングができないこと、何より司書の知識やノウハウをどう盛り込めるかなど、高度な専門性が要求される作業が必要になります。こうした自館のデータベース化と、スケールメリットを最大限に享受できる“レファレンス協同データベース”への完全参加をどう構想できるのかが、現場の私たちに問われているのかもしれません。

(参考)

国立国会図書館 レファレンス協同データベース事業 : <http://crd.ndl.go.jp/jp/library/>

(一般利用者用データベース検索 : <http://crd.ndl.go.jp/jp/public/>)

レファレンス・サービスに関する雑誌記事紹介

(2009年6月～2009年9月分)

※ 論題(記事名)、著者、雑誌名、出版者/編者 巻号、発行年月、掲載ページ の順に記載

(参考: 国立国会図書館 NDL OPAC 雑誌記事索引)

- 1 クローズアップNDL(第12回)調べものに役立つリサーチ・ナビ / 上田貴雪 『図書館雑誌』 日本図書館協会 103(6) (通号 1027) [2009.6] p.396
- 2 れいあれんす三題噺(その159)久留米市立中央図書館の巻 レファレンスに日々取り組んで--調査研究室カウンターから / 臼井玲子 『図書館雑誌』 日本図書館協会 103(6) (通号 1027) [2009.6] p.400~401
- 3 国立国会図書館が目指す書誌サービス(特集 ウェブ検索時代の目録) / 原井直子 『図書館雑誌』 日本図書館協会 103 [6] [通号 1027) [2009.6] p.384~386
- 4 大人の楽しい調べもの(第9回)味覚は鍛えられるか? / 永江朗 『あうる』 図書館の学校 / 図書館の学校機関誌事業委員会 編 (89) [2009.6・7] p.30~35
- 5 高田高史のレファレンスひろば(その11)「柳の実験で有名なヘルモントについて知りたい」ほか / 高田高史 『あうる』 図書館の学校 / 図書館の学校機関誌事業委員会 編 (89) [2009.6・7] p.36~39
- 6 特集 専門図書館の今日的レファレンスサービス 『専門図書館』 専門図書館協議会 (236) [2009.7]
 - ・専門図書館の今日的レファレンスサービス--総論もしくはレファレンス礼賛 / 山崎久道 p.1~6
 - ・東京都立中央図書館都市・東京情報系のレファレンスサービス / 小山響子 p.7~14
 - ・化粧文化を身近なものに ポーラ文化研究所のレファレンス / 富澤洋子 p.15~20
 - ・レファレンス協同データベース事業に参加して / 粟屋久子 p.21~26
 - ・読む、登録する、分析する--小規模図書館におけるレファレンス協同データベースの活用法 / 大貫朋恵 p.27~35
- 7 れいあれんす三題噺(その160)茨城県立佐和高等学校図書館の巻 「本との出会い」のレファレンス--高校生によるブックトーク授業から / 勝山万里子 『図書館雑誌』 日本図書館協会 103(7) (通号 1028) [2009.7] p.468~469
- 8 れいあれんす三題噺(その161)荒川区立南千住図書館の巻 窓口いろいろレファレンス / 亀山明夏 ; 清野愛子 ; 鈴木葉子 他 『図書館雑誌』 日本図書館協会 103(8) (通号 1029) [2009.8] p.530~531
- 9 高田高史のレファレンスひろば(その12)「元禄時代のファッションについて知りたい」ほか / 高田高史 『あうる』 図書館の学校 / 図書館の学校機関誌事業委員会 編 (90) [2009.8・9] p.42~45
- 10 チャートで考えるレファレンスツールの活用(ステップ24)日本歴史 / 大串夏身 『あうる』 図書館の学校 / 図書館の学校機関誌事業委員会編 (90) [2009.8/9] p.46~49

NEWS

1 国立国会図書館法の改正 (7/2)

7月2日の衆議院本会議、7月3日の参議院本会議において、国立国会図書館法の一部を改正する法律（衆議院議院運営委員長提出、「改正法」）が可決、成立しました。これにより、国、地方公共団体等の提供するインターネット情報を包括的に収集する制度が実現します。改正法は、納本制度とは別に、国、地方公共団体、独立行政法人等が提供するインターネット資料を国立国会図書館が記録媒体（磁気ディスク等）に複製・保存する権限を規定しています。改正法の施行は、平成22年4月1日。

2 日本図書館協会、政府刊行物の提供について文部科学省に要請 (7/2)

日本図書館協会と全国公共図書館協議会は7月2日文部科学大臣宛てに政府刊行物の提供について要請、要望を行いました。協会の要請は「政府刊行物の都道府県立図書館への無償、かつ確実な提供を求めることについて」と題して、次の3点を要請しました。

- 1 各都道府県立図書館から要望のあった政府刊行物を無償で提供すること。
- 2 官報、法令全書、白書、職員録、主要な指定統計、および国会会議録（委員会会議録を含む）などの主要な政府刊行物は、すべての都道府県立図書館に提供すること。
- 3 政府刊行物が都道府県立図書館に迅速かつ確実に提供される仕組み、手立てを確立すること。

3 iPodでの貸し出し好調 千葉の図書館、障害者らに (7/31)

活字での読書が困難な視覚障害者らを対象に、千葉県立中央図書館（千葉市中央区）が、ボランティアが朗読した図書の内容をデジタルデータで収録した携帯音楽プレーヤー「iPod」の貸し出しを始め、順調に利用者を増やしているという記事が産経新聞7月31日朝刊に掲載されました。iPodの利用は全国初の試みで、視覚障害のある透析患者の声がかきかけとなったそうです。著作権法改正により、来年1月から図書館による障害者向けの「録音図書」作成が容易になることもあり、注目を集めそうだと書かれています。

4 日本図書館協会、『乳幼児への図書館サービスガイドライン』刊行 (7月)

日本図書館協会は、国際図書館連盟(IFLA)が2007年に刊行した”Guidelines for Library Services to Babies and Toddlers”の日本語版、『乳幼児への図書館サービスガイドライン』を刊行しました。原文に即して翻訳した上で、「日本語版あとがき」に児童青少年委員会の意見が付されています。施設会員には配布されますが、直接購入も可能です。

5 日本政策金融公庫と佐賀商工連、(佐賀)県立図書館と連携 中小を支援 (8/21)

日本政策金融公庫、佐賀県商工会連合会は21日、佐賀県立図書館と中小企業のビジネス支援で業務連携すると発表しました。図書館でビジネス相談やセミナーを開催し、ビジネス関連図書を充実することで中小経営者や起業家、サラリーマンらの利用を促すもので、県立図書館が金融機関や経済団体と連携して、地域の中小企業などの経営支援や創業支援に乗り出す全国でも初の試みとなります。

佐賀県立図書館にビジネス相談コーナーを新設し、10月半ばから月2回、業務改善や創業

などに関する相談を始める。相談には商工会連合会や政策金融公庫が派遣する経営指導員や相談員が応じるそうです。

6 大府市中央図書館に脅迫文 31日まで臨時休館 (8/26)

愛知県の大府市中央図書館に26日朝、「子どもを殺す」という手紙が投げ込まれた事件を受け、市教委は31日まで、同館と、併設の歴史民俗資料館の両館を臨時休館するという事件がありました。手紙が見つかったのは返却ポストのある北口の扉付近。「もう夏休みはいらぬい。うるさい子どもはもういらぬい。おれが殺してやる」という内容が含まれていたことから、夏休み中の休館を決めました。その後の対応は状況を見て検討するということです。

7 就活情報は図書館で、大学生対象に活用セミナー (8/27)

日本図書館協会と東京都立中央図書館が8月27日、大学3年生を対象に、就職活動に役立つ図書館の利用法を教えるセミナーを開きました。早稲田大学や専修大学の学生ら22人が参加し、講習は学生が実際に企業調査を体験する形で進められました。本やデータベースなど、図書館の膨大な所蔵資料から効率良く情報を集める方法を習得し、自分に合った会社探しに役立ててもらおう試みでした。

8 根室市図書館で「ニッポン号」展 (8月)

根室市図書館で、「ニッポン号世界一周70周年を記念して」と題した展示が開かれました。ニッポン号の模型、絵葉書などの展示のほか、関連書籍やビデオなど計58点を公開しました。ニッポン号は東京日日新聞（毎日新聞社の前身）の双発プロペラ機。今年は初の世界一周単独飛行に成功してから70年目になります。1939年8月26日に羽田空港を出発した当初、27日に根室飛行場から一路アラスカのノーム空港へ向かう予定でしたが、千歳空港に変更となり、根室飛行場は「幻の本土最終出発点」となったのです。しかし根室上空でのエピソードが今も語り継がれており、「航空の都」といわれた往年の根室を思い返す展示になったそうです。

9 北海道医療大学・北海道立図書館共催セミナー開催 (9/2)

北海道医療大学札幌サテライトキャンパスにおいて、北海道医療大学と共催するセミナー「わかりやすい健康に関する情報講座」が行われました。

テーマは「やさしい薬のおはなしパートⅢ、メディカル・セフティとは何か」～健康情報を入手するための図書館活用術～と題し、医療大学の唯野貢司教授、医療大学総合図書館の職員3名、道立図書館の一戸が講師になり、薬についての話のほか、正確な健康情報を知るために、医学系データベースを使った検索方法や、図書館の効果的な利用方法の解説をしました。

10 第51回北海道図書館大会開催 (9/10・11)

ホテル・ライフオーブ札幌で2日間の日程で開催されました。「伝えよう図書館の魅力」をテーマに仁上幸治氏の基調講演、パネルディスカッション、ポスターセッション等の内容で行いました。ポスターセッションでは公共、大学、短大、学校図書館等の14組の発表がありました。また、大会後には、来年1月に更新される北海道立図書館情報システムについてのシステム説明会を行いました。

編集後記

- ◇ 8月に仙台へ旅行に行きました。街中を散策したときに仙台市民図書館の近くを通ったのでふらりと立ち寄りました。旅先でも図書館を見つけると入ってしまう…、図書館員の性分でしょうか。(on)
- ◆ 夏休みのイベントの際、「道立図書館おさんぽマップ」を作成しましたが、当館の庭は四季の変化を様々に楽しむことができます。秋の季節がやってきて、エゾリスが冬に備えて食糧を探しまわる姿をまた見かけるようになりました。(T)
- ◇ 雨の多かった夏のため、清清しく晴れた秋空がとても気持ちよく見えます。晴れの日が多くなりますようにと、願いながら窓の外を見上げる日々です。どこか遠くへ行きたい。〈や〉
- ◆ レファレンスの回答の際、有用なサイトをご紹介することが大変多くなっています。機会がありましたら、ぜひ、メールレファレンスをご活用下さい。メールは文中に記述したサイトをアドレスから開きやすいという利点がありますし、ご紹介した他館の所蔵情報もテキストデータで使うことができます。
アドレスは、reference@library.pref.hokkaido.jp です。(た)
- ◇ 夏休みは、5歳児に付き合っって子ども向けテレビ番組の劇場版映画を観てきました。確か40年前にも同じタイトルの映画を観たことがあったような……。前日はホームページで必死に現在のストーリーを勉強してから観に行きました。映画を観るのに“予習”までした経験は初めて。(へ)
- ◆ あまり夏らしくない夏も終わり、気持ちは冬への備えに向かっています。とは言え、収穫の秋。不稔が心配されたお米もどうにか持ち直し、新米が楽しみです。今回は只石さんからご寄稿いただき感謝々々。市町村のみなさまと一緒に頑張りたいと思います。〈S〉

臨時休館のお知らせ

～図書館システム更新及び蔵書点検に伴う休館について～

北海道立図書館では、平成22年1月に運用を開始する予定の図書館システムの更新作業に伴い、下記の期間を臨時休館とさせていただきます。

休館期間中は、ILL業務の他、複写、レファレンスの各サービスについても、休止とさせていただきますので、ご了承ください。

新システムでは、北方資料の「デジタル・ライブラリー」をはじめ、検索画面等がより使いやすくなる予定です。皆様にはご不便をおかけいたしますが、よろしく願いいたします。

休館期間：平成21年12月1日(火)～平成21年12月27日(日)

(引き続き、1月4日(月)まで年末年始等により休館いたします。)



Do-Re(どうれ)の由縁

“どうりつとしょかんレファレンス”の
略から名付けました。

しかしながら

“どれどれレファレンス”からの説もあります。

THE REFERENCE NEWSLETTER OF HOKKAIDO PREFECTURAL LIBRARY

Do-Re

北海道立図書館レファレンス通信 No.36(通巻40号)

発行年月日 平成21年9月30日

編集 北海道立図書館参考調査課

発行 北海道立図書館

〒069-0834 北海道江別市文京台東町41番地

TEL 011-386-8521 FAX 011-386-6906

<http://www.library.pref.hokkaido.jp>

e-mail: sancho@library.pref.hokkaido.jp
